疾患名　胸腺癌（胸腺腫）　No.93

プロトコール名　ADOC療法

■進行・再発癌　□術後補助化学療法　□術前補助化学療法

□大量化学療法　□局所療法　□その他（　　）

投与順	抗癌剤名（商品名・略号）	1日投与量	投与法	投与時間	投与日（d1，d8等）
1	シスプラチン（ランダ・CDDP）	50mg/m^2	div	2時間	d1
2	ドキソルビシン（アドリアシン・DXR）	40mg/m^2	div	30分	d1
4	ビンクリスチン（オンコビン・VCR）	0.6mg/m^2	div	全開	d3
5	シクロホスファミド（エンドキサン・CPA）	700mg/m^2	div	90分	d4

1コース期間　（次コースまでの標準期間）	3週間
総コース数	4コース
コース間での休薬の規定	※Grade3以上の血液毒性

減量規定・中止基準	※Grade3の好中球減少＋発熱性好中球減少 ※Grade4の4日以上続く好中球減少 ※Grade4の血小板減少
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ・ﾎﾟｽﾄﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ	ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ カイトリルバッグ3mg、デカドロン20mg エンドキサン投与時、4時間後、8時間後、メスナを投与

※CTCAE　v3.0

患者条件（初回条件）

・PS　0～2
・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

・脱髄性シャルコー・マリー・トゥース病の患者
・ペントスタチンを投与中の患者
・本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
・重篤な腎障害のある患者
・心機能異常又はその既往歴のある患者
・重症感染症を合併している患者
・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

実施上の注意点

・オンコビンは、1回量1mg／bodyを超えないこと
・アントラサイクリン系薬剤未治療例で，アドリアシンの総投与量が500mg／m^{2}を超えると重篤な心筋障害を起こすことが多くなるので注意すること
・エンドキサンは、泌尿器系障害の発現抑制のため、投与終了後24時間は150ml/時間以上の尿量を保つように、1日3L以上の輸液を投与するとともにメスナを併用すること